

# 福山市

## (1) 地方圏における市町村間の広域連携に向けた取組



### 連携団体

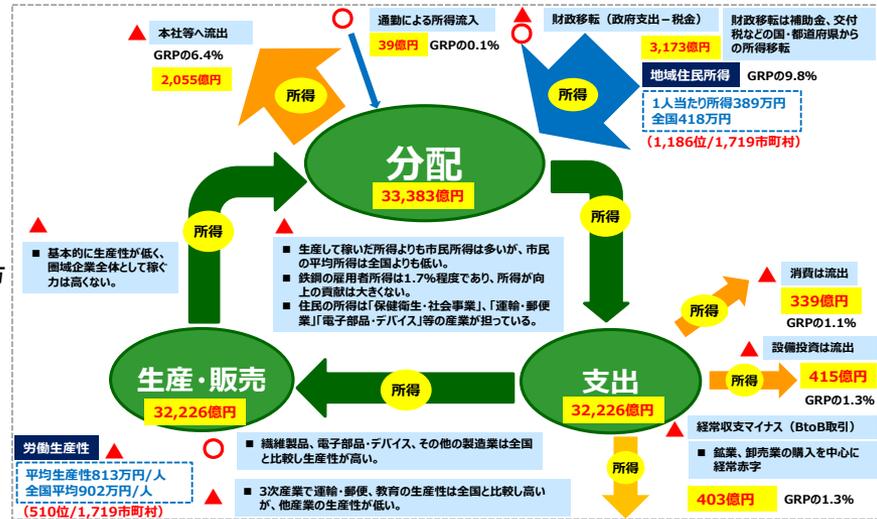
【広島県】 三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町  
 【岡山県】 笠岡市、井原市

### (1) 取組の背景、経緯

備後圏域は、第一次産業から第三次産業まで多種多様な産業が集積しているだけでなく、かつて国の工業整備特別地域に指定されていたことから、日常生活圏に加え、経済的結び付きも強い地域である。  
 備後圏域においても、人口減少・少子高齢化への対応に加え、中小企業における人材の育成・確保や先端技術の取り込みなど地方共通の課題に直面しており、人口減少社会においても活力ある圏域を維持していくためには、強い地域経済の実現が欠かせないと考え、地域経済の長所・短所や将来見通しなどを把握するための地域経済循環分析(地域経済カルテの作成)を行うとともに、その分析結果を踏まえ、今後の経済成長を支える柱となる施策の構築を行うことにした。

### (2) 取組の内容

- 圏域単位の地域経済循環分析(地域経済カルテの作成)
  - 「圏域の稼ぐ力(生産・販売)」、「住民の所得(分配)」、「所得の使い方(支出)」の特徴や、所得の圏域外への流出要因を把握し、地域経済の長所・短所や将来見通しなどを分析
  - 【分析項目】
    - ・産業別の労働生産性、付加価値構成比(稼ぐ力)
    - ・修正特化係数、純移輸出額(得意な産業、圏域外から稼ぐ産業)
    - ・産業の影響力係数、感応度係数(産業構造)
    - ・産業間取引構造
    - ・全国における備後圏域の立ち位置 など
- 圏域の強みとなる産業の抽出と長所を生かすための施策の検討
  - 地域経済の好循環の促進に向け、支援すべき産業の抽出や、施策の方向性などを検討
  - 【方向性】
    - ①圏域一体で共同事業を実施
      - ・保健衛生・社会事業の分野で共同事業を展開
      - ・教育の分野で共同事業を展開
    - ②複数自治体で強みのある産業で共同事業を実施、かつ、各自自治体の多様性を発揮
      - ・鉄鋼などの素材型産業と電子部品・デバイスなどの機械産業でクラスターを形成
      - ・共同事業で農業を強化し、6次産業によるクラスターを形成
      - ・機械産業、観光などと連携した、デニムクラスターの次の展開



### (3) 取組の特徴・ポイント

- 地域経済の全体像(分野ごとの取引額や圏域内での循環、圏域外との関係など)を俯瞰するため、単一の行政区域ではなく、圏域(経済的結び付きが強い日常生活圏)単位で経済分析を実施
- 圏域(経済的結び付きが強い日常生活圏)単位の経済分析により、単自治体ではできない「各自自治体の強みを生かし、弱みを補完することで相乗効果をめざす施策」の検討をすることができる。

### (4) 今後の展開

- 関係団体等との情報共有や、具体的な施策構築につなげるため、産業振興部署のワーキングや大学関係者等への説明会を実施
- 強みとなる産業を核とした域内取引の活性化や外貨獲得をめざし、圏域でイノベーションエコシステムの形成支援を推進